

小規模事業者持続化補助金を活用して (琴平町商工会)

伝統を守るために新しいことに挑戦し続ける

会社説明

当店は、こんびらさんのお膝元・琴平町で大正元年に創業して以来100年以上続く染物屋です。香川県の伝統的工芸品に指定されている、もち米を防染糊として使って模様を染める技法「讃岐のり染」を守りながら、幕や幟、暖簾、法被、旗、獅子舞の油断など、一枚一枚手作りでデザインから縫製まですべて自前で行っており、毎春開催される四国こんびら歌舞伎大芝居の幟を昭和60年の第1回公演時より製作しているほか、近年は、その幟のデザインを活かしたトートバッグなど普段使いできる商品も展開しています。

また、令和元年からは、先々代までが行っていた、藍染めの沖でも日本古来の製法であり、色落ちや色移りがしにくい「正藍染」の技術を一から学び、使用する原料の藍は町内の農家に栽培してもらい、香川の新たなブランド「讃岐正藍染」として育てています。

事業課題

当店の伝統的な商品は、長ければ20年以上使用可能であり、そもそも受注頻度が少ない上に、新型コロナウイルスの影響で歌舞伎や秋のお祭りが中止となり、令和2年以降、売上が大幅に減少しました。

一方、近年開発した商品の売上は、令和3年に販路を増やしたことにより増加したものの、伝統的な商品の落ち込みをカバーするには程遠いものでした。

このため、まずは、香川県の風土や文化の中で独自の発展を遂げ、長く受け継がれている「讃岐のり染」を知ってもらおう、

そんな機会を作りたいと思い、令和4年に染物体験事業を開始したところ、利用していただけの観光客も徐々に増えてきました。



県内随一の観光地という立地を生かし、多くの観光客に染物体験を通じて、染物の良さ、当店の商品の価値を理解してもらえようになったことから、工房内で当店オリジナル商品を見ることができ、

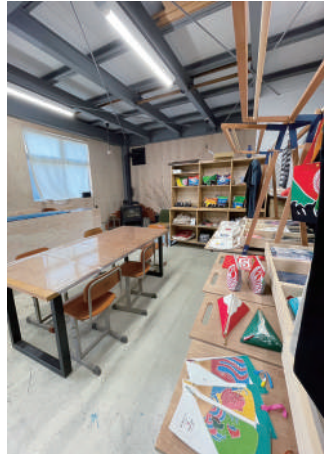
購入できるような販売スペースの整備が必要だと考えました。

小規模事業者持続化補助金の活用

そこで、琴平町商工会に相談し、持続化補助金を活用して、販売スペースの整備に加え、誘導看板の設置や販売商品の開発などを行ったところ、染物体験の参加者に自然な形で商品説明や作り手の想いを伝えることができ、来店者の購入率が向上したことで店舗での売上が約5割増加したほか、意見や要望を直接聞くことができ、商品づくりにも役立っています。

今後の展開

金刀比羅宮の参道に続く商店街にある店舗を生まれ変わらせ、より人が集う、賑わいのある場所にするため、マルシェの開催を予定しており、単なるイベントとして盛り上げるのではなく、同じように地域で頑張っている人たちと協力して、育てていくようなものになりたいと思っています。



琴平町商工会
経営指導員 住谷 健治

事業主は、香川県の伝統的工芸品である「讃岐のり染」を残していくために、時代の変化に対応した変革を積極的に行っていく方向であります。今後とも、その挑戦に支援機関として伴走型の支援を続けて一緒に成長していけたらと思っています。

店舗情報

染匠吉野屋

住所 仲多度郡琴平町277-3
営業時間 9:00~17:00
定休日 不定休
電話 0877-75-2628
ホームページ <http://kotohirayoshinoya.jp/>

